

保証書

持込修理 無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
 - (イ)お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
 - (ロ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛りなどによる故障及び損傷
 - (ハ)消耗または摩耗した部品、付属品の交換
 (二)本書のご提示がない場合
 (ホ)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合(但し、販売店シールや領収証でも未記入項目の代用となります。)
 (ヘ)本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
 (ト)一般家庭用以外(例:業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
- ご贈答、ご転居などで本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	DIYレコードプレーヤー		★お買い上げ日：	年	月	日
型番	RDP-B450N	品番	03-7011	保証期間：本体1年間(お買い上げの日から)		
お客様	ふりがな					
	★お名前 様					
お客様	★ご住所 〒 ー					
	電話 ()					

修理メモ

★住所 店名 電話



(注)★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。

※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。

※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

OHM 株式会社 オーム電機
 〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
<https://www.ohm-electric.co.jp>

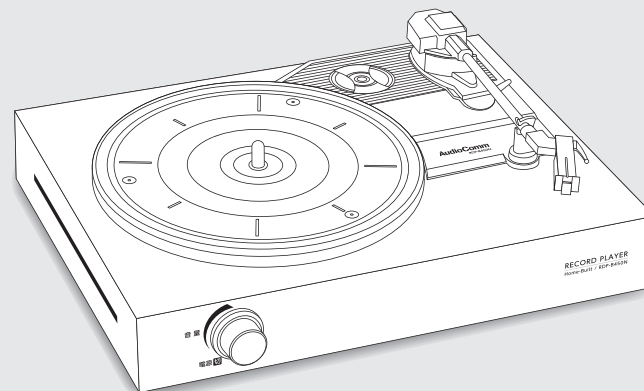
製品に関するお問い合わせは お客様相談室 へ	
●通話料無料	●携帯・IP・公衆電話からは
0120-963-006 048-992-2735	
電話受付	平日 9:00~17:00 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます
修理に関するご相談は 修理ご相談センター へ	
電話受付	048-992-3970 平日 9:00~17:00 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

AudioComm®

保証書付 取扱説明書

DIYレコードプレーヤー

型番：RDP-B450N 品番：03-7011



このたびは、AudioComm® DIYレコードプレーヤーをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

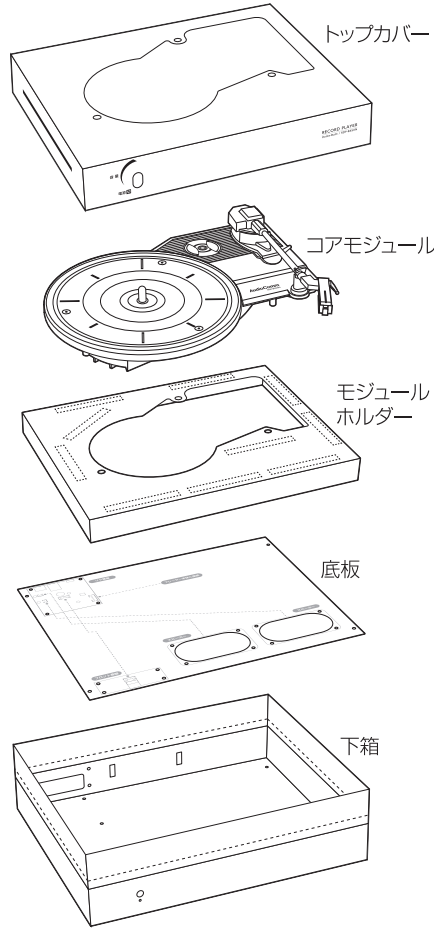
本機の機能を十分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますよう大切に保管してください。

目次

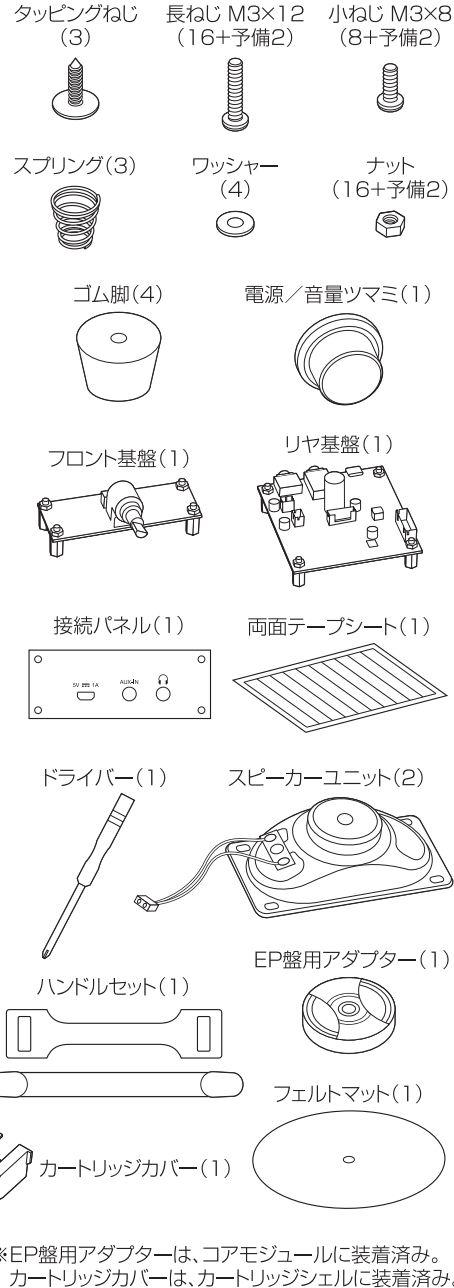
内容一覧(箱の中身をご確認ください) …… 1	外部機器のスピーカーとして使う …… 15
免責事項 …… 2	お手入れのしかた …… 15
安全上のご注意 …… 2~3	レコード針の交換方法 …… 16
組み立てかた …… 4~11	故障かなと思ったら …… 17
各部の名称 …… 11	主な仕様 …… 18
電源について …… 12	保証書とアフターサービスについて …… 18
レコードを聴く …… 13~14	保証書 …… 裏表紙
ヘッドホンで聴くときは …… 15	

内容一覧(箱の中身をご確認ください)

キャビネット・台紙



部品類 ※()内は個数



免責事項 下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- 弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- 本製品によって生じたデータの消失または破損
- 本製品のために費やした時間及び経費
- 本製品を運用した結果もたらされた損害
- 本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- 本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

安全上のご注意

電気製品は間違った使いかたをすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階で表示しています。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の方への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

	危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。
	警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
	注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

絵表示の使用例

	△記号は、注意(危険、警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。 左図の場合は「感電注意」が描かれています。
	○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 左図の場合は「分解禁止」が描かれています。
	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。 左図の場合は「プラグをコンセントから抜く」が描かれています。

警告

	分解禁止	基盤やコアモジュール、スピーカーユニットなどを分解、修理、改造しない ●火災・感電の原因となります。		接触禁止	雷が鳴り始めたら、安全のため本機及びUSB電源コードに触れない ●落雷や感電の原因となります。
	適合品を使う	USB-AC電源アダプターやモバイルバッテリーは、必ず本機の規格に適合した製品を使う ●製品の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因となる場合があります。		水かけ禁止	浴室、台所など湿気の高い場所や水飛沫のある場所では使わない ●感電や故障の原因となります。

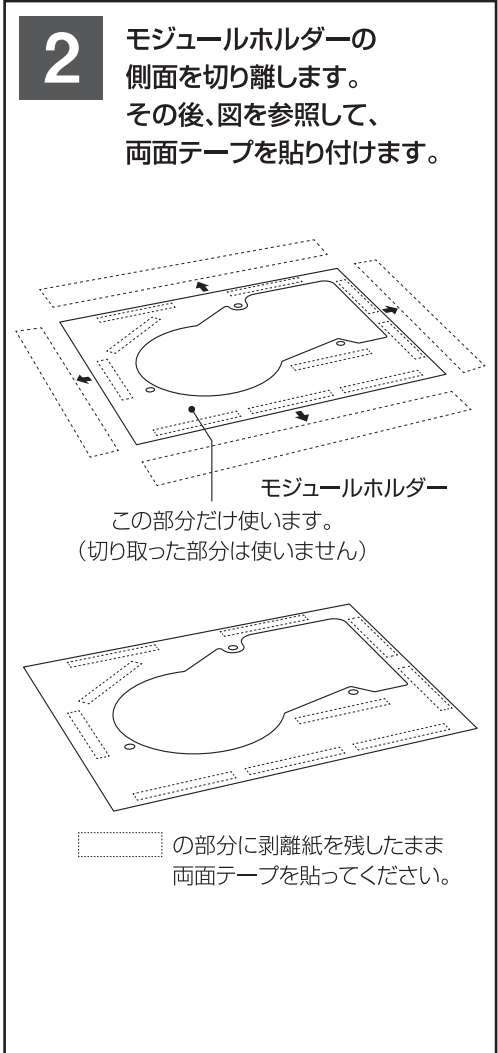
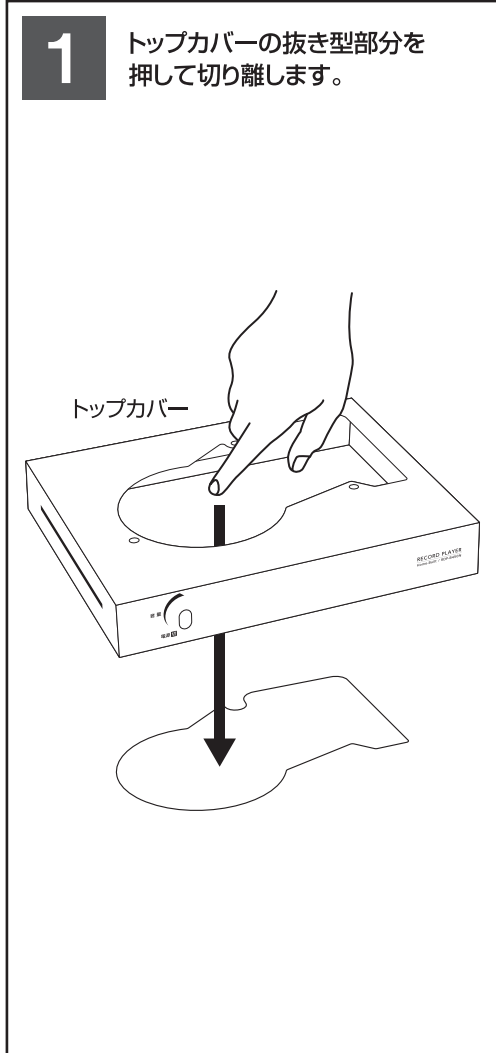
警告	
<p>! 使用中止する</p> <p>万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感じたら、すぐに本機の電源を切り、USB電源コードを抜く</p> <ul style="list-style-type: none"> ●そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。 ●煙が出なくなるのを確認して、販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。 <p>万一、内部に異物や水などが入った場合は、使用中止する</p> <ul style="list-style-type: none"> ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。 	<p>禁止</p> <p>狭い場所や壁に押し付けるなど、通気が妨げられる場所に設置しない。また、本機やUSB電源コード、モバイルバッテリーを新聞紙やテーブルクロス、カーテン、布団、敷物などで覆わない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●熱がこもって変形したり、火災の原因になることがあります。 <p>本機の上に、例えば火のついたロウソクなど、火災の原因となるようなものを置かない</p> <p>本機やUSB電源コードの上に重いものをのせたり、コードの上に本機をのせない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●コードが傷つき、火災・感電の原因となります。 <p>本機の上に花瓶などの水が入ったものを置かない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●火災・感電の原因となります。 <p>USB電源コードを傷つけたり、加工したり、コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●破損して火災・感電の原因となります。
<p>! 必ず守る</p> <p>USB-AC電源アダプターはすぐに手が届く位置にある家庭用コンセントに接続する</p> <ul style="list-style-type: none"> ●手が届きにくい場所にあると、異常があったときに対応が遅れるおそれがあります。 ●本機の電源を切ただけでは、完全に電力を遮断できません。異常が生じたときには、すぐにアダプターを家庭用コンセントから抜いてください。 	

注意	
<p>ぬれ手禁止</p> <p>ぬれた手で操作しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●感電の原因となることがあります。 	<p>禁止</p> <p>暖房器具や調理器具の近くなど、油・蒸気・熱のあたる場所に置かない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●破損・故障の原因となります。 <p>シンナーやベンジン、アルコールなどで拭かない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●変形・変色の原因となります。 <p>窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●キャビネットや部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。 <p>ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。 <p>USB電源コードを抜くときは、コードを引っ張らない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 ●必ずプラグ部を持って抜いてください。 <p>磁気カード(キャッシュカードなど)を近づけない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●スピーカーに組み込まれた磁石の影響でデータを破損するおそれがあります。
<p>コンセントから抜く</p> <p>お手入れの際や移動させるとき、長期間本機を使わないときは本機からUSB電源コードを抜く。USB-AC電源アダプターも家庭用コンセントから抜く</p> <ul style="list-style-type: none"> ●火災・感電の原因となることがあります。 	
<p>音量を抑える</p> <p>大音量で聴き続けけない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●大音量で聴き続けると、周囲の迷惑になるだけでなく、聴力に悪い影響を及ぼすおそれがあります。 	
<p>掃除をする</p> <p>USB-AC電源アダプターとコンセントの接続部を定期的に掃除する</p> <ul style="list-style-type: none"> ●USB-AC電源アダプターとコンセントの間にほこりがたまると自然発火(トラッキング現象)を起こすことが知られています。年に数回、定期的にプラグのほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。 	
<p>禁止</p> <p>ほこりの多い場所に置かない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●火災・感電の原因となることがあります。 	

組み立てかた

ご注意

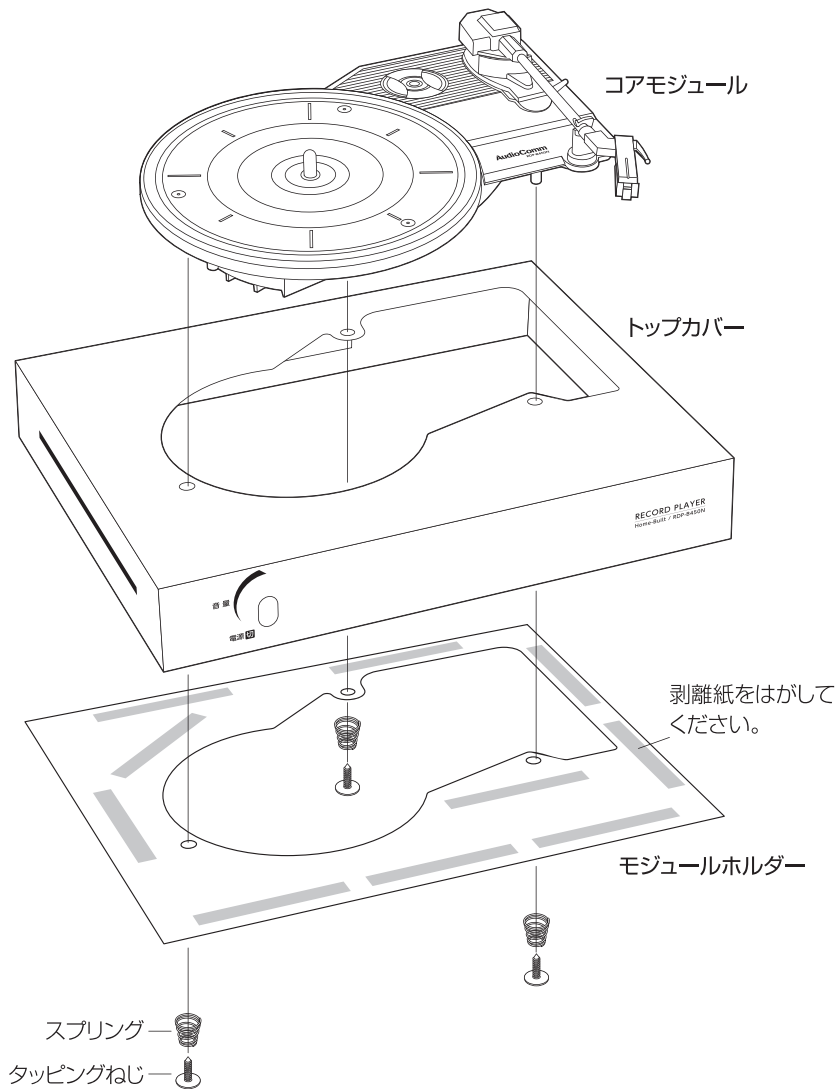
- 組み立てキットの中には、精密部品が含まれています(コアモジュール、フロント基盤、リヤ基盤、スピーカー、接続コード)。これらの部品を取り付けるときは、傷つけたり、衝撃を与えたりしないよう、丁寧に取り扱いください。また、回路部は直接指で触れないでください。
- 筐体や台紙には紙素材を使っています。切り取ったり、紙片を取り除く際は、けがをしないよう十分に注意してください。また、変形や変質を避けるため、飲み物などをこぼしたり、湿ったタオルなどに触れさせないようにご注意ください。
- ナットやねじ類など細かな部品は、袋から取り出した後もトレイ内に保管するようにすると、紛失を防ぐことができます。



組み立てかた(つづき)

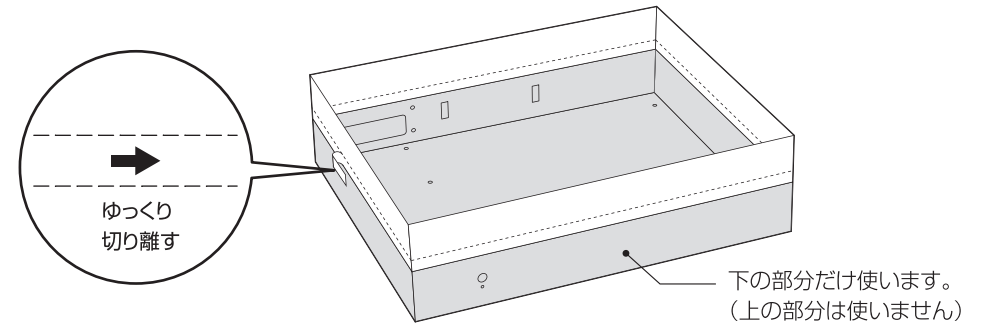
3

モジュールホルダーに貼った両面テープの剥離紙を剥がし、
トップカバーの内側に貼り付けます。
その後、コアモジュールを載せ、スプリングとともにタッピングねじで固定します。



4

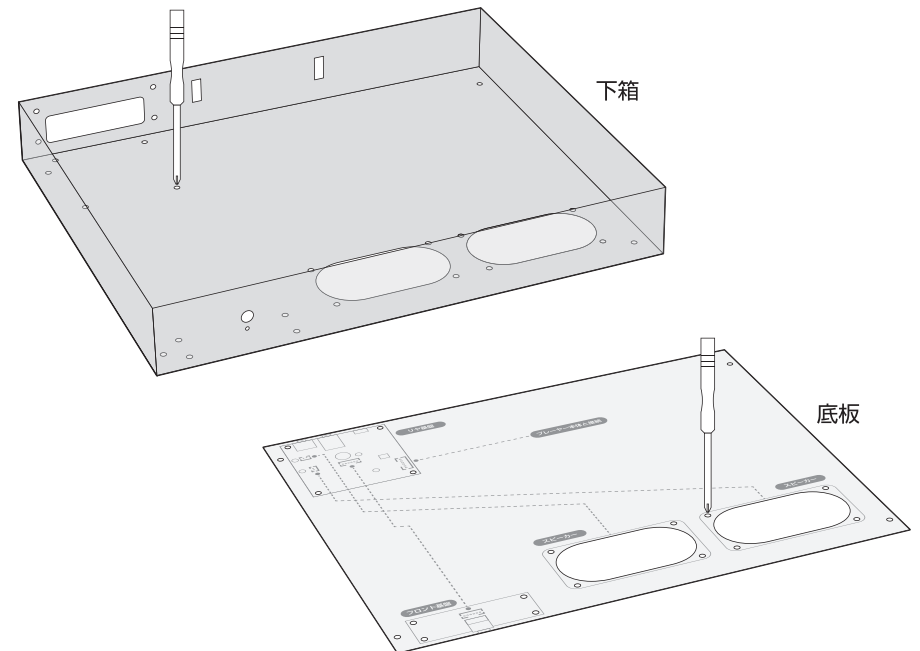
下箱のミシン目の部分を切り離します。



5

下箱と底板の
ねじ穴や取り付け窓をふさいでいる紙片をすべて取り除きます。

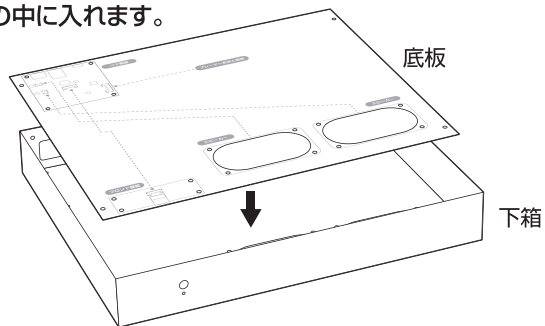
小さな穴は付属のドライバーを使って取り除いてください。



組み立てかた(つづき)

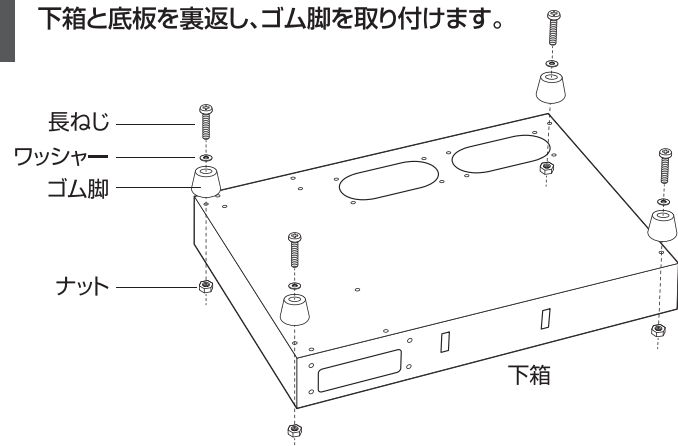
6

底板を下箱の中に入れます。



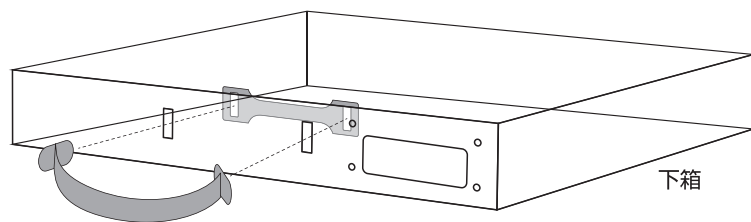
7

下箱と底板を裏返し、ゴム脚を取り付けます。



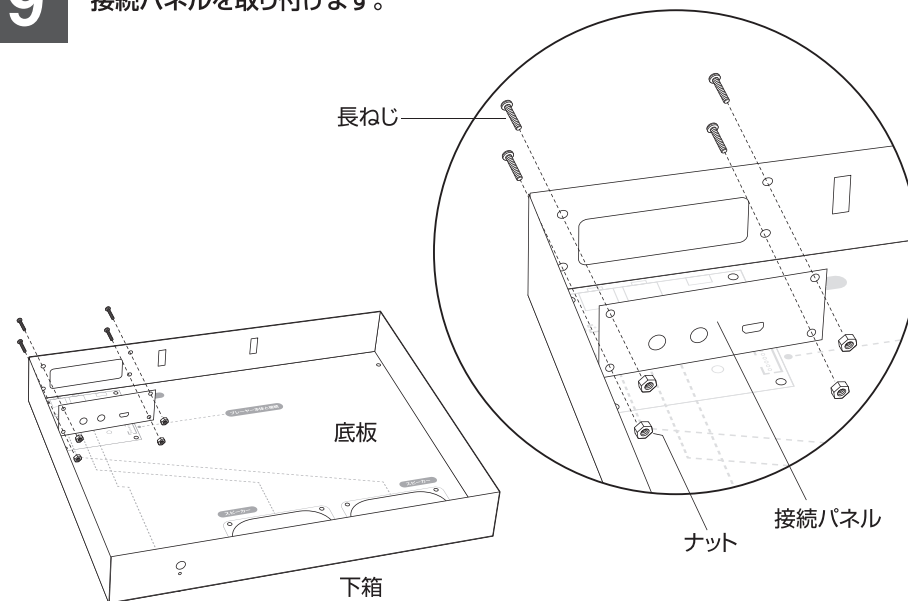
8

ハンドルを取り付けます。



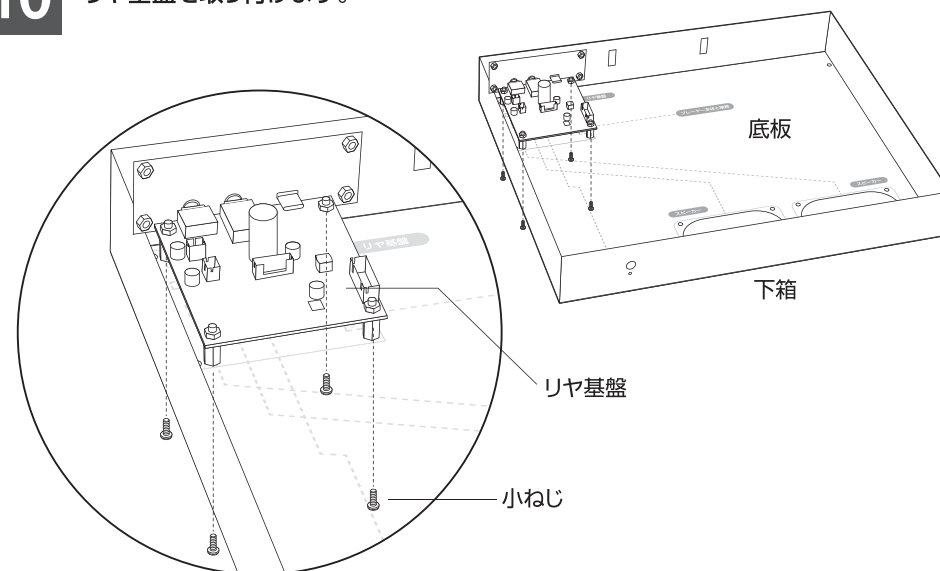
9

接続パネルを取り付けます。



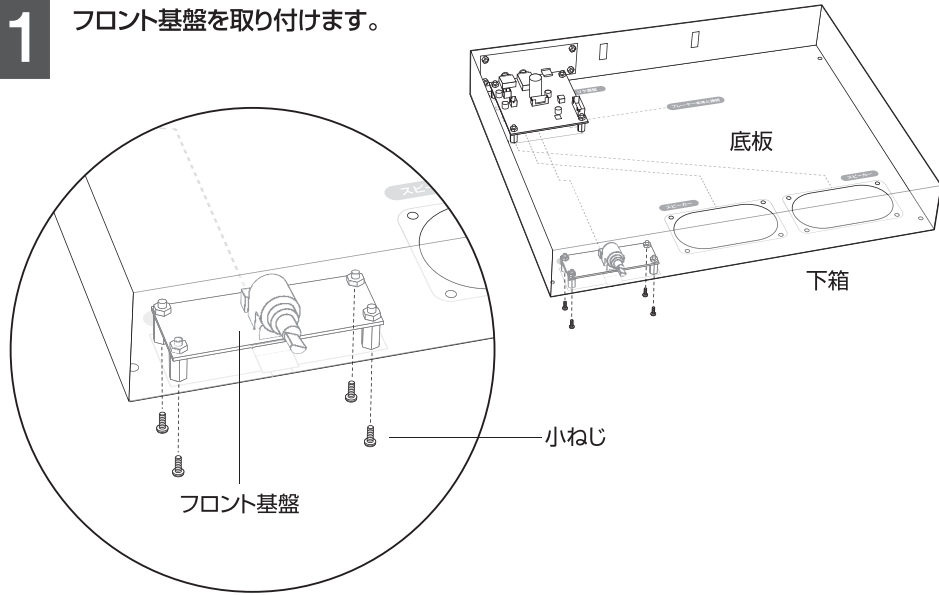
10

リヤ基盤を取り付けます。

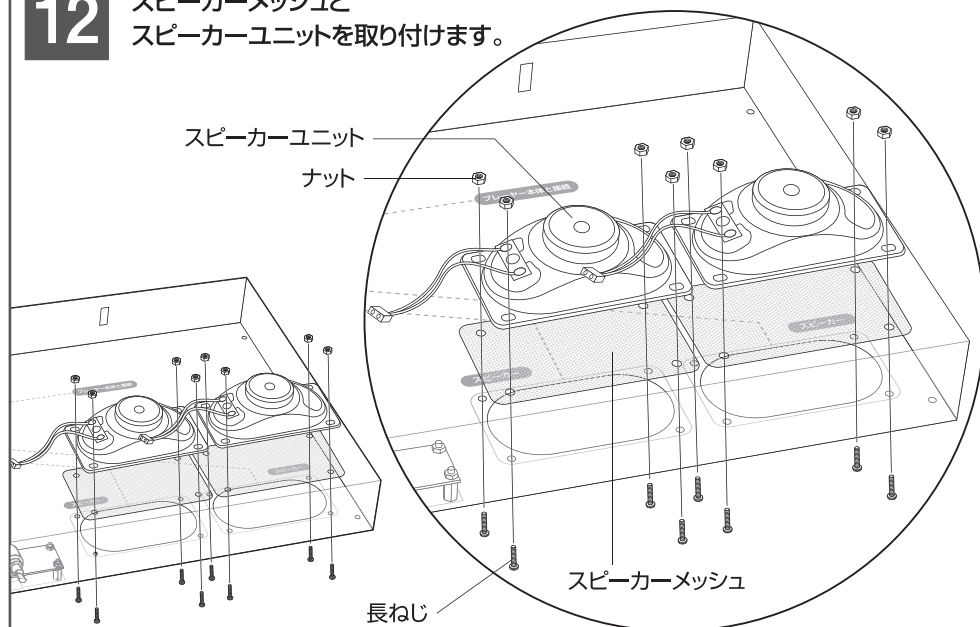


組み立てかた(つづき)

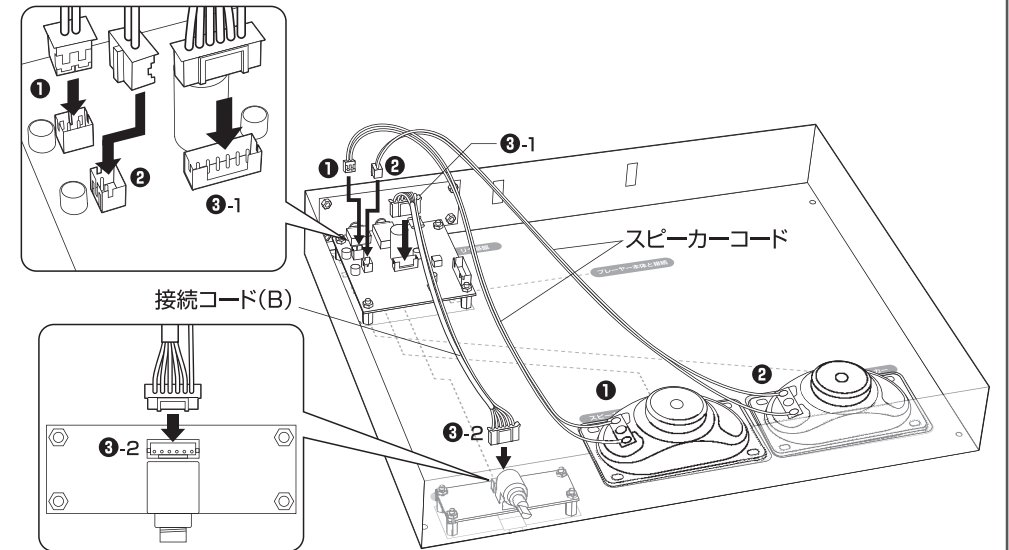
11 フロント基盤を取り付けます。



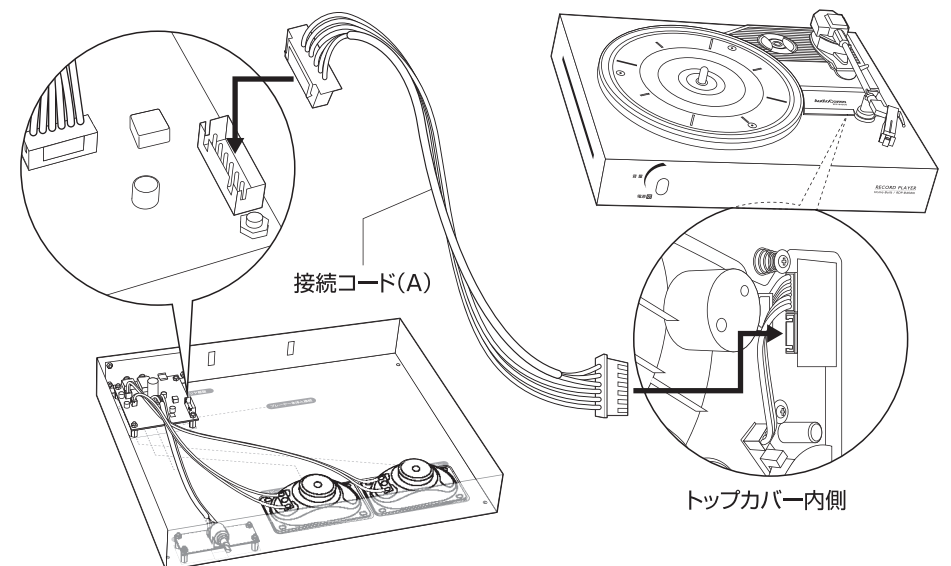
12 スピーカーメッシュとスピーカーユニットを取り付けます。



13 スピーカーコードの端子をリア基盤のソケットに差し込みます。続いてフロント基盤とリア基盤を接続コード(B)でつなぎます。

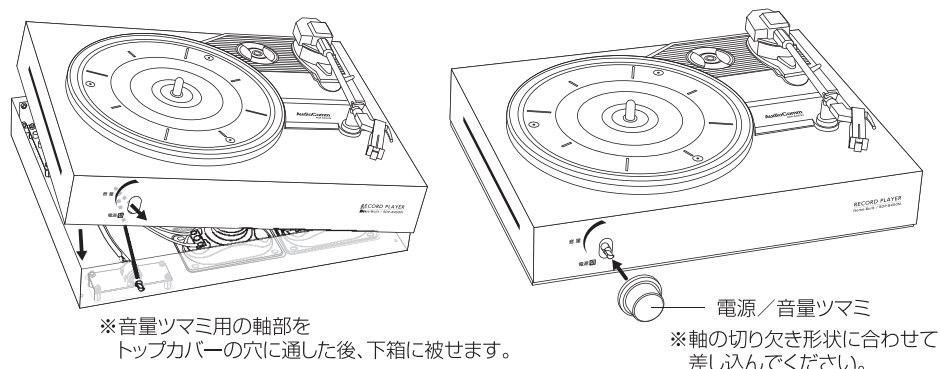


14 コアモジュール(トップカバー)とリア基盤(下箱)を接続コード(A)でつなぎます。

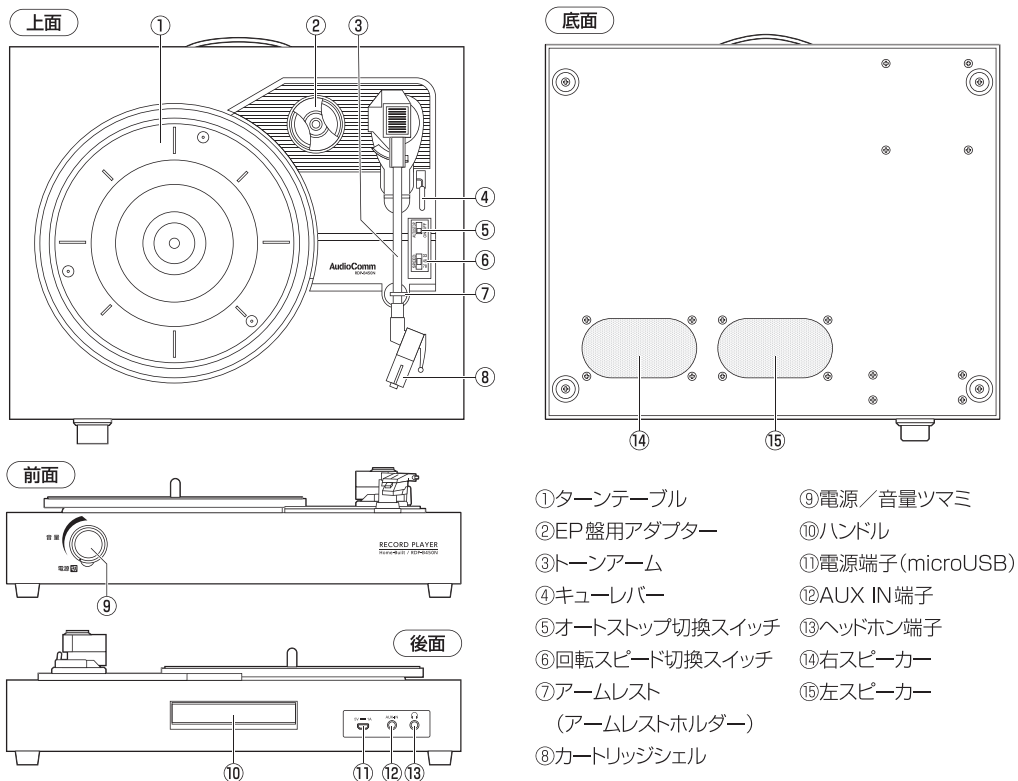


組み立てかた(つづき)

- 15** フロント基盤の音量軸部をトップカバーの穴に通した後、トップカバーを下箱に被せます。その後、電源/音量ツマミを軸に差し込みます。



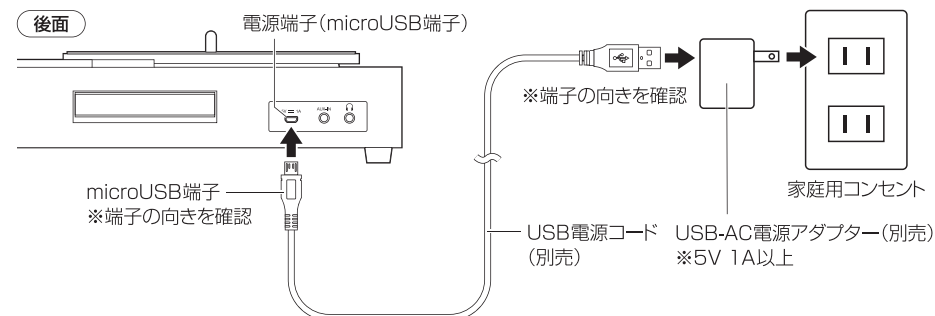
各部の名称



電源について

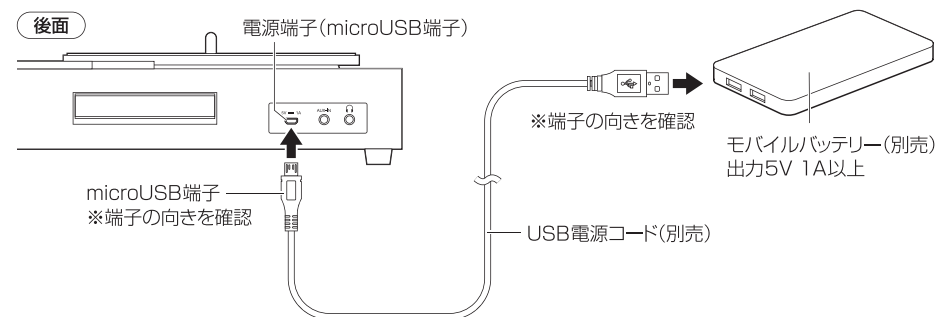
家庭用電源で使うとき

- USB電源コードとUSB-AC電源アダプター(ともに別売)を使い、本機の電源端子と家庭用コンセントをつないでください。
- 本機の電源端子はmicroUSBです。USB-AC電源アダプターの端子タイプも確認し、接続に適したUSB電源コードをお使いください。
 - USB-AC電源アダプターはDC5V 1A以上のものをお使いください。それよりも出力が小さいアダプターを使うと、正常に動作しません。



モバイルバッテリー(別売)で使うとき

- USB電源コード(別売)を使って、本機の電源端子とモバイルバッテリーをつないでください。
- 本機の電源端子はmicroUSBです。接続に適したUSB電源コードをお使いください。
 - モバイルバッテリーはDC5V 1A以上のものをお使いください。それよりも出力が小さいモバイルバッテリーを使うと、正常に動作しません。



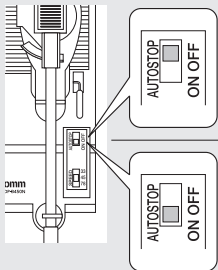
ご注意

- お使いになる前に、モバイルバッテリーを十分に充電してください。また使用中に電池残量が少なくなると、本機が正常に動作しなくなります。長時間お使いになるときは、家庭用電源での使用をおすすめします。

レコードを聴く

ヒント オートストップ機能について

本機にはオートストップ機能があり、ONとOFFを切り換えることができます。



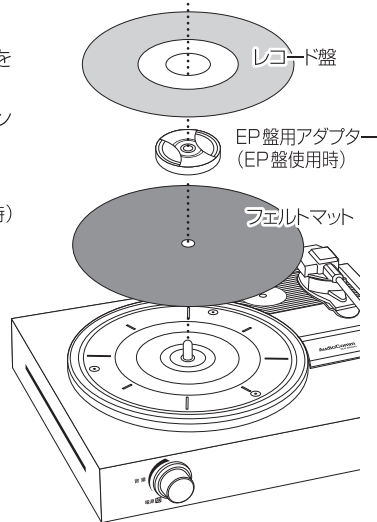
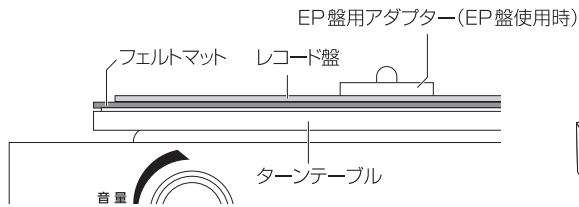
「OFF」のとき：電源を入れると同時に、ターンテーブルが回転し始めます。
※演奏終了後もターンテーブルが回り続けます。演奏が終わったらすぐにキューレバーを上げて、トーンアームをアームレストに戻してください。そのまま放置するとレコード針の損傷や音質低下の原因になります。回転を止めるには電源を切ってください。

「ON」のとき：トーンアームの動きに合わせてターンテーブルが回転し、演奏が終わると自動停止します。
※トーンアームは自動では戻りません。手でアームレストに戻してください。
※EP・SP盤のレコードを演奏しているときは、盤の終わりに近づく途中途中で停止してしまうことがあります。そのようなときは、「OFF」にしてお使いください。

ご注意 ●トーンアームを操作するときは、レコード盤を傷つけないようご注意ください。

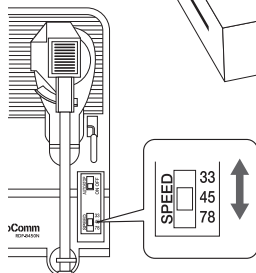
1 レコード盤をセットします。

- フェルトマット(付属)をターンテーブルに敷いた後、レコード盤をセットしてください。
- EP盤の場合は、フェルトマット装着後、EP盤用アダプターをターンテーブルの軸部に装着し、その上からEP盤をセットしてください。



2 レコード盤の種類に合わせて回転速度切換スイッチを切り換えます。

- 多くの場合、LP盤は33 1/3回転、EP盤は45回転、SP盤は78回転です。それぞれ33、45、78の位置に切り換えてください。



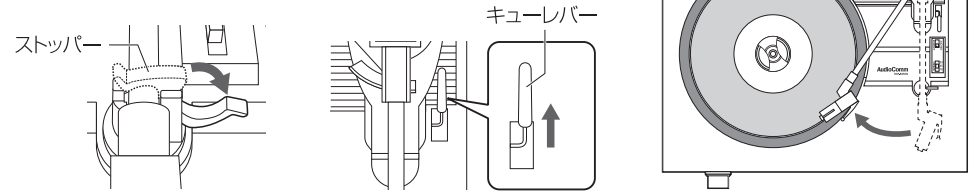
3 電源/音量ツマミを回して電源を入れます。

- カチッと音がして電源が入ります。
- 大きく回しすぎず、控えめにしてください。



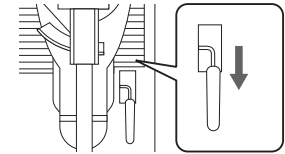
4 アームレストホルダーのストッパーを外し、キューレバーを上げます。その後、トーンアームを演奏したい場所の上に移動させます。

- オートストップ機能が「ON」のときは、トーンアームをレコード盤に近づけるとターンテーブルが回転し始めます。



5 キューレバーを下げます。

- トーンアームがゆっくりと下りて演奏が始まります。

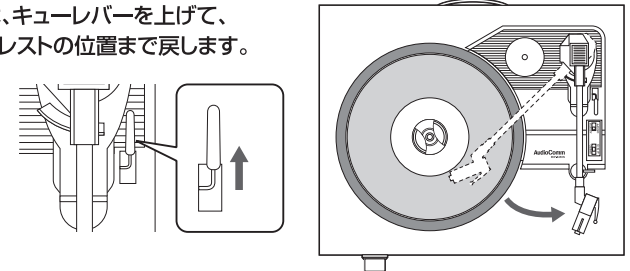


6 電源/音量ツマミを回して音量を調節します。

- 音量の上げすぎにご注意ください。周囲の迷惑になるだけでなく聴力に悪い影響を与えるおそれがあります。



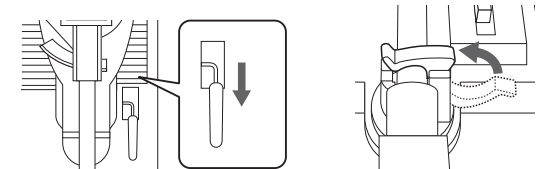
7 演奏を終了するときは、キューレバーを上げて、トーンアームをアームレストの位置まで戻します。



8 キューレバーを下げ、トーンアームがアームレストホルダーの高さまで下りたら、ストッパーをかけて固定します。

ご注意

- トーンアームはゆっくり下ります。無理に指で押さえたりしないでください。破損や故障の原因になります。

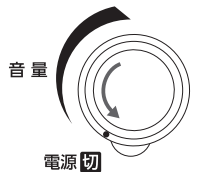


9 終了するときは、電源/音量ツマミを「電源切」の位置まで確実に回します。

- カチッと音がするのを確認してください。

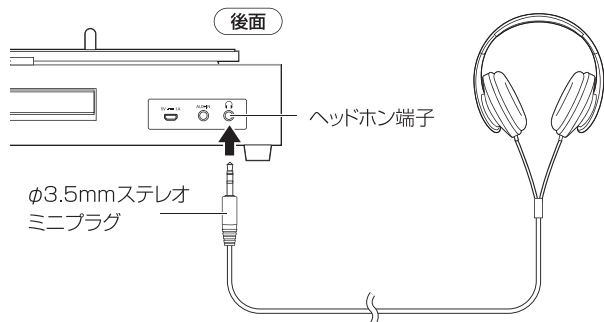
ご注意

- 使い終わったらレコード盤を本機にセットしたままにせず、ジャケットに入れて保管してください。また、アームレストホルダーのストッパーもしっかりと固定してください。



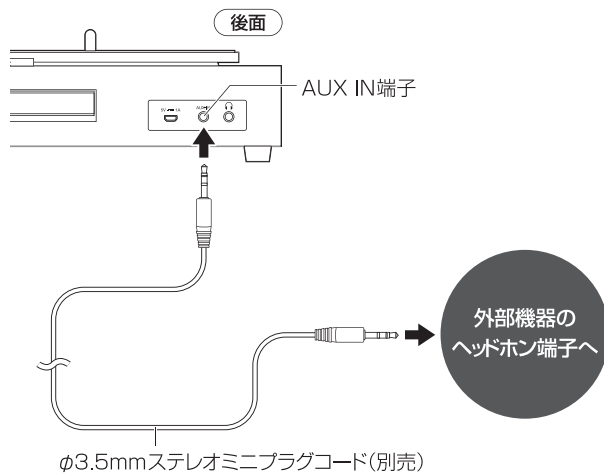
ヘッドホンで聴くときは

- ステレオヘッドホン(別売)のφ3.5mmステレオミニプラグを、ヘッドホン端子に接続してください。ヘッドホンをつなぐと、スピーカーからの音は聞こえなくなります。
- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。



外部機器のスピーカーとして使う

- 本機及び外部機器の電源が切れた状態で、φ3.5mmステレオミニプラグコード(別売)を使い、図のように接続してください。その後、双方の電源を入れ、外部機器で再生などの操作をすると、本機のスピーカーから音が出ます。
- 接続を解除するときは、必ず双方の電源を切ってください。



ご注意

- AUX IN端子にプラグが接続されているときは、ターンテーブルが回転しないため、レコードを聴くことはできません。
- 音量の調節は、本機と外部機器のいずれでも可能ですが、片方だけ大きいと、音割れなどの原因になります。バランスに気をつけながら調節してください。

お手入れのしかた

キャビネットのお手入れ

必ず事前に電源を切ってください。

- 樹脂部分が汚れたら、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、布をぬるま湯か薄めた中性洗剤で湿らせ軽く拭いた後、から拭きしてください。
- ただし、紙製部分は、変色・変質・変形のおそれがありますので、柔らかい布でのから拭きにとどめ、水拭きはしないでください。
- いずれの素材部分に対しても、シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、絶対に使用しないでください。

レコード盤のお手入れ

レコード盤にほこりやゴミが付着すると、音飛びや雑音の原因となりますので、市販のクリーニングキットなどでクリーニングすることをおすすめします。クリーニングする際は、レコード盤の溝に沿って弧を描くように行ってください。



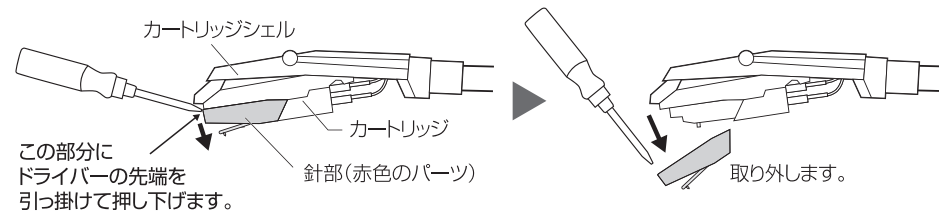
レコード針の交換方法

レコード針は、50時間ほど使用するとすり減って音質が悪くなり、レコード盤を傷めます。定期的に弊社指定の専用交換針にお取り換えください。

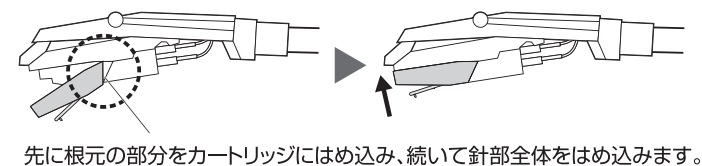
本機専用レコード交換針

交換用レコード針 2個入り
型番：RDP-BN01N 品番：03-0859

- 1 カートリッジと針部(赤色のパーツ)の境目に、マイナスドライバー(市販品)の先端を引っ掛けて押し下げ、針部を取り外します。
●カートリッジ及びカートリッジシェルを指でしっかり持ちながら行ってください。



- 2 新しい針部の根元をカートリッジにはめ込み、続いて全体を元どおりにはめ込みます。



故障かなと思ったら

症状	チェック項目
電源が入らない	<p><家庭用コンセント接続時></p> <ul style="list-style-type: none"> ●USB-AC電源アダプターは本機の規格に適合した製品を使っていますか。 ●本機とUSB-AC電源アダプター、家庭用コンセントが正しく接続されていますか(プラグがゆるんでいませんか)。 <p><モバイルバッテリー使用時></p> <ul style="list-style-type: none"> ●モバイルバッテリーは本機の規格に適合した製品を使っていますか。 ●モバイルバッテリーの電池残量が少なくなっていますか。 ●本機と正しく接続されていますか(プラグがゆるんでいませんか)。
ターンテーブルが回転しない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源が入っていますか。 ●オートストップ切換スイッチの選択は正しいですか。「ON」のときはトーンアームをターンテーブルに近づけると回転を始めます。 ●USB-AC電源アダプターやモバイルバッテリーが、本機の規格に合っていますか(出力が足りない場合、電源が入ってもターンテーブルが回転しないことがあります)。 ●AUX IN端子にプラグが接続されていませんか。
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●音量が最小になっていませんか。 ●ヘッドホン端子にヘッドホンが接続されていませんか。
トーンアームが動かない	<ul style="list-style-type: none"> ●アームレストホルダーのストッパーがロックされていませんか。
音がおかしい	<ul style="list-style-type: none"> ●回転スピード切換スイッチはレコードの回転数と合っていますか。 ●曲がっていたり、そっているレコード盤を使っていませんか。
音が飛び	<ul style="list-style-type: none"> ●振動の多い場所で使っていませんか。床の振動などが本機に伝わっていませんか。 ●レコード盤に傷がついていませんか。 ●本機を水平な場所に置いていますか。傾いていると針が飛びやすくなり、音飛びの原因になります。 ●レコード盤にそりはありませんか。
雑音が入る	<ul style="list-style-type: none"> ●レコードの針が摩耗していませんか。新しい針と交換してください。 ●針先にほこりがたまっていませんか。 ●レコード盤に静電気が溜まっていませんか(「お手入れのしかた」を参照してレコード盤をクリーニングしてください)。
レコードの回転が途中で止まる	<ul style="list-style-type: none"> ●オートストップ切換スイッチが「ON」になっていませんか。EP盤やSP盤は標準的なレコードより演奏時間が長い場合、途中で止まる場合があります。オートストップ切換スイッチを「OFF」にして、演奏終了後、手でトーンアームを戻すようにしてください。
「ワーン」という音が出る(ハウリング現象)	<ul style="list-style-type: none"> ●本機の置きかたや部屋の状態により発生する場合があります。置きかたや音量を調整してみてください。
ヘッドホンから音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●プラグが正しく接続されていますか(プラグがゆるんでいたり、AUX IN端子につないでいませんか)。
外部機器の音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●本機と外部機器が正しく接続されていますか(プラグがゆるんでいたり、ヘッドホン端子につないでいませんか)。 ●本機または外部機器の音量設定が、最小または消音になっていませんか。

※動作不具合全般にわたって、組み立て時の接続コードの差し込み不足やゆるみも原因として考えられます。トップカバーを開け、各コードがしっかりと接続されているか、端子がゆるんでいないかをご確認ください。

主な仕様

電源	DC5V 1A(microUSB給電)
実用最大出力	1W+1W
スピーカー	4Ω 3W×2
形式	マニュアル機構
回転速度	33 1/3回転、45回転、78回転
レコード針	ルビー針
駆動方式	ベルトドライブ
入力端子	電源(microUSBポート)、AUX IN端子(φ3.5mmステレオミニジャック)
出力端子	ヘッドホン端子(φ3.5mmステレオミニジャック)
外形寸法	(約)幅323×高さ96×奥行282mm(突起物含まず)
質量	約1.04kg
付属品	EP盤用アダプター(コアモジュールに装着済)、フェルトマット、保証書付取扱説明書

※仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。

※この取扱説明書で使用している図版は簡略化しており、実際の製品と一部異なります。

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

●**調子が悪いときは** 修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

●**保証期間中は** 保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●**保証期間が過ぎた場合は** 修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。